

色絵竜田川図向付 十客のうち
撮影：越田悟全



細見美術館

琳派展XVII

乾山



琳派400年記念祭

琳派400年記念祭 琳派展XIII
MIHO MUSEUM所蔵 琳派のやきもの 乾山
Rimpa Exhibition

Celebrating 400 Years of the Rimpa School of Japanese Painting
Rimpa Ceramics from the MIHO MUSEUM: The Works of Kenzan

平成二十七年九月十九日(土)～十月二十三日(月・祝)
前期：九月十九日(土)～十月十八日(日) 後期：十月二十日(火)～十一月二十三日(月・祝)

主催 細見美術館 読売新聞社

後援 琳派四百年記念祭委員会

特別協力 MIHO MUSEUM

開館時間 午前10時～午後6時(入館は五時三十分まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は、翌日)

入館料 九月二十四日(九月二十一日・二十二日・二十三日は開館)
一般1,000円(1,000円) 学生800円(700円) ※ ()内は二十名以上の団体料金

会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町六・三

TEL 〇七五・七五二・五五五 <http://www.emuseum.or.jp>

KEN
ZAN

ご優待：本紙にて4名様まで100円引 一般1100円→1000円 学生800円→700円

琳派400年記念祭 琳派展XIII
MIHO MUSEUM所蔵 琳派のやきもの 乾山
Rimpa Exhibition

Celebrating 400 Years of the Rimpa School of Japanese Painting
Rimpa Ceramics from the MIHO MUSEUM: The Works of Kenzan
平成二十七年九月十九日(土)～十二月二十三日(月・祝)
前期…九月十九日(土)～十月十八日(日)
後期…十月二十日(火)～十一月二十三日(月・祝)



①



②

多様な乾山焼の世界



③

- ① 色絵雲菊文手付汁次 二合のうち
 - ② 色絵桔梗文盃台 一基
 - ③ 錆絵染付立葵図茶碗 一口
 - ④ 錆絵百合形向付 五客
 - ⑤ 色絵竜田川図向付 十客のうち
 - ⑥ 錆絵牡丹図角皿(光琳画) 一枚・前期展示
- ※作品はすべてMIHO MUSEUM所蔵
※撮影:越田悟全

尾形乾山(1663～1743)は、尾形光琳(1658～1716)の実弟で、江戸時代を代表する陶芸家として知られます。乾山は京焼の伝統を踏まえながら、広く作陶活動を展開し、中でも琳派のデザイン性を取り入れた大胆な意匠は、独創的な乾山ブランドとして人気を博しました。

本展ではMIHO MUSEUMの所蔵する乾山焼の優品を一堂に展示します。400年に及ぶ琳派の流れの中でも一際ユニークな存在となった乾山焼。自由で文人的ともいえるその作風は、陶芸の世界における琳派の豊かな芸術性を示すとともに、18世紀に大きな飛躍を遂げた京の町衆文化の象徴、展開を示すものとも位置付けられました。



琳派のやきもの

乾山焼の茶碗

展覧会関連イベント 有料・事前申込制
第35回アートキューブレクチャー
「MIHO MUSEUMの乾山コレクションについて」
日時：2015年10月31日(土) 14時～
会場：京都市勧業館みやこめっせ
(地下1階工芸実技室)
講師：畑中 章良氏(MIHO MUSEUM 学芸員)

会期中のイベント 有料・事前申込制
琳派400年関連イベント
RIMPAサロンV「細見琳派の魅力—鈴木其一—」
日時：2015年10月9日(金) 10時30分～
会場：カフェ・キューブ(当館地下2階)
講師：岡野智子(当館上席研究員)

次回展予告
細見コレクション名品選「麗しき日本の美」
2015年11月28日(土)～2016年1月24日(日)
年末年始休館 2015年12月28日(月)～2016年1月1日(金)



- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
 - 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
 - 地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。
- ご来館には公共交通機関をご利用下さい。

書画一致の境地



⑥